京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢　月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎

發行所　京城西小門通（電話六六三）　京城新報社

社說

歐米人謝恩展覧會開催の議（一）

志賀重昂

ヘヂン博士が蒙古探險の大旅行を遂げて東京に現はし、先づ我國に來るや、朝野の歡迎は狂せん許りなりき。而して歐洲某國の一博士にして又某國新聞通信員たる人は、所謂ヘヂン博士を訪ひ、日本の事情と風俗に批評して其注意を促した、然るにヘヂン博士は是等の事に耳を掛けず、歐洲に歸るや、口を極め筆を盡くして日本を激賞し、予の如き無名の一書生の事までをも倫敦タイムス紙上に發表した、其後伊藤公の薨報に接するや、ヘヂン博士の公に對する讚辭は、凡そ今回の哀死に就き伊藤博文なる人を追悼せしものなりき、知らずナポレオンを西歐有りと有らゆる文字中飛び拔けて大なるして尚且つ公を上に置きたる批評は歐地の新聞に現はれたのである、借て此のヘヂン博士は日本天皇陛下よりも叙勳せられ、瑞典皇帝陛下よりも叙勳せられ、露國皇帝陛下よりも叙勳せられ、又其紀行は歐洲列國の參謀本部にて翻譯出版せられ純然たる世界的の人物なるに拘はらず、人あり博士に對し、日本にての見聞中何が最も愉快なりしやと問ひたるに、日本到着の際、瑞典國旗を飜へしたる日本短艇の出迎に會ひたる此第一等の關心の事なりしと答へたりと云ふ。御承知の如く瑞典が今日の地位は英獨一等國の如き羨むべきものではない更に又ヘヂン博士は瑞典人と云ふよりも寧ろ世界的人物である然るに尚且つ瑞典國旗を飜へして日本短艇が出迎に來りたるを第一等の關心なりと云ふ、瑞典の海軍と日本の海軍とは比較にもならざる程である。然るに予の男兒を見るや、瑞典國に來り瑞典の軍艦にて練習すれば好海軍士官となるべしと云ひたるなど、如何なる國人にも國自慢あることを悟るに足るべく、又這般の國民的誇りに投ずるか將又之れを傷ふの二途其一に依りて、外交の機微は玆に審判せらるべく、之れを傷へば全く失敗し、之れに投ずれば必ず成功するのである。

予は外交の機微と云へり、然し是を惡しく解釋されては全く心外千万である凡そ人々個々の好感を動かし、賺々たる情誼を繋げば、個人交際の上にも必要な秘訣で、社會的平和は依つて以て保持せらるゝのである。然れば國と國との交際、又甲國民と乙國民との好感を動かすは全く此の外平和の基である。故に高等外交など、批評する者あれば其の批評に一任し置き、予は國民的誇りに投ずるを以て最も人情の機微に中るものと確信す、況んや其事の光明正大にして、一は以て先進國民に對する後進國民が感謝の情を表明する最も機微的の業にして而も最も廉價を以て國民の品格を最も高く識むる方法なりとすれば、是を實行するは最も時宜に適ふものと確信する、何ぞや、日韓開國歐米人謝恩展覧會開催のこと即ち是である（未完

元老優遇の失敗

創統監時代よりして元老を遇する事厚きは畢竟するに禮として固より尠くあるべき筈ながら韓國の元老は本國の夫と大に其趣を異にせり本國に於ける元老が優遇に値するは一般の認むる處なれども今日に於ける韓人元老と稱せる者の多くは表面こそ大政にも參與し用事に盡瘁せしの功勞を有せしが如きも是等連中の裡面の消息は少しく韓國の事情に通ぜる者は夙に知悉する處云はゞ位置の高き丈夫れ丈醜怪の事跡多く民衆の怨嗟最も高きものなり如此民人の怨府たる連中に對し絕大の厚遇を拂ふは一面國民を侮辱する甚しきものにして間接に統監府に對して惡感を挑發せしむるに至り從ふて常に同府の施設に對し嫌焉たらざる大なる一因をなさしむるに至れるものにして遺憾の極なりとは某韓政客の談なるが爲政當局の反省すべき事ならずや

地方通信

釜山通信

▲草梁の市街計畫　鐵道管理局に於ける建築部及び運輸部の龍山に引揚げられたため一時衰頽したるが近き將來に於て復奮すべき機運に向ひつゝあれば此の際民團にては草梁の前途を豫想し市區改正し幹線道路を設くるの必要ありとて本年度に於て先づ之れが設計を行ない漸次改修を行ふ筈なりと云ふ

▲釜山稅關鑑定價格　當稅關にては輸出入穀物の鑑定價格標準を左の通り改定し本日より施行する由なり

品名	數量	舊鑑定價格	改正鑑定價格（錢）
上白米	百斤	三八〇	三七〇
中白米	同	三五〇	三四〇
玄米	同	三四〇	三三〇
糯中白米	同	四〇〇	三九〇
粉白米	同	二九〇	三〇〇
粉圭米	同	一三〇	一五〇
大豆	同	二八〇	三〇〇
大麥	同	一八〇	一九〇
小麥	同	三六〇	三七〇
胡麻	同	四八〇	四六〇
綠豆	同	二九〇	三〇〇
蕎麥	同	一八〇	一六〇
粟	同	三九〇	四〇〇
籾	同	二〇〇	一八〇
荏子	同	四一〇	四五〇

平壤通信

▲平南線工事入札結定　去る三十一日平壤鐵道出張所内に於て平南鐵道工事第四區請負入札を執行したる結果六萬二千八百圓にて久米組落札したるが之れにて同鐵道全線の請負入札を結了したり

▲暴動と理事廳　頃日順川に蜂起したる暴動事件に關し理事廳に於ては中野副理事を出張せしめ暴動の原因市場稅に關する人民の意向及び目下の民情を調査する目的にて四日憲兵二名と共に五日間の豫定にて出張せり

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌▼　池田謙三氏の人物經濟論上の不景氣は要するに人物經濟に關する處多き故宜しく人物經濟を研究する要するある處は實に其當を得る處（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社）

▲小年▼　小學生徒の良友たり。（東京市京橋區南鍋町時事新聞社發行）

▲銃獵界▼　斯界の好材料たるは獨り銃獵界あるのみ。（横濱本町二丁目金丸銃砲店）

▲實業之日本▼　增田社長の余の最も勸めたき世渡りの心得は人格の修養法より人生悲慘幸福事にわたつての解釋法まで遺憾なく述べある處は最も讀むに値へす（東京京橋南紺屋町同社發行）

▲婦人世界▼　既婚者の苦心談及未婚に對する注意等は漏す處なく說述されあるも中最も家庭に取り必要なるは村井夫人料理談あり。（實業之日本社發行）

▲日本小年▼（實業之日本社發行）

▲少女の友▼　米國の少女に歡迎されたれ話は皆さん是非ともれ讀みなさい（實業之日本社發行）

▲幼年の友▼（實業之日本社發行）

▲警察月報▼（十六、十七號）（警視廳發行）

日本銘刀傳

第廿九席　邑井一講演



彼の虎次郎沖里が鍛わたる甲冑を据わて沖里は控へたり、所へ向ふの幕を拂つて立出でましたは、當時一藩中に其名高き文珠五郎兼次、已れの鍛ひたる一刀を持つて進んだり、篠原賴母は片唾を飲んで控ね居りましたが、殿の命を受けて、兩人を御前近く召しました中納言卿朗かに　殿「コリャ虎次郎、五郎、武藏に武藏の試合は數多く見聞せしが、鍛刀の優劣を爭ふ試合は實珍らしき事にてある、何れが負け何れが勝ち候ても、後日の怨恨必ず無用であるぞ」兩人「ハヽア有難き御沙汰を蒙り臣等恐悅の至りに存じ奉る」と禮を申上げて左右へ別れ、虎次郎は〇を後ろ

右の書面を見たる虎次郎に於ては死骸の前へ兩手を突いてハラ／＼と落涙に及ぶ　虎「れ情け厚き御教訓を蒙り、何時の世にか忘れ申さん、仰せに從がひ今日の事濟みますれば、此國を去つて刀鍛冶となり申さん」と泣く／＼母の死骸をば家人の者に相頼みまして、未だ表向は致しません、兎に角も今日の試合に後れなば、母の存意にも負く次第と涙を拂つて金澤城へ出立致しました、さて當日は中納言殿を始め、家老重臣綺羅星の如く居並び、庭前には

から斯う徳で居ります、前へ廻はつた兼次が覺への一刀ひらりと引拔き　五「アイヤ長曾根氏、御身我が刀にては其〇裏缺ぐまじと思ふてか今日の願ひ、實に片腹痛く存ずる、若美事其鐙にして裏缺かば、以來鐙師を止めて我が門人となり、刀劍師とはなり給ゑ」と傍若無人の一言、虎次郎沖里は血氣盛んの若者なれば、クッと許りに怒りを發し　虎「默り候へ、文珠氏、御身の鍛つたる鈍刀にて、何ぞや我鐙の裏を欠ぐことを得べけんや、一般普通の鐙師が鍛わたる鐙にあらず、天下の名人沖里が正に鍛ひし品なれば曲の立つべき道理はなし　五「オ、能くも舌長くもいはれたりな、裏缺かば如何に致す　虎「我鐙にして裏缺かば御身の門下に屬して、刀學ばん、若し又御身の刀にして曲こぼれ等出來たる節は、我が門下になりて、鐙を學び給ひ　五「コハ面白し……　虎「論は無益イザイザ　五「心得たり」と兼次は一歩後の方へ退き、覗へを定めて打下さんと致しました、時に虎次郎は大音な揚げ　虎「ヤア／＼文珠兼次未だ呼吸が足らざるぞ、今一層の精神入るゝにあらざれば、到底曲は立つべからず」文珠激して　五「默り居らう」と云ひながら五「ヤッ」一聲叫んで打下ろしました、鐙は眞二つになつたであらうと思ひの外、金の鈴を振る如き美しき音を發して、刀を彈き返しました、兼次心中に失敗つたりと思ひながら、再び刀を振上げて打下さんとしましたから、檢査役寺澤田主膳、傍より聲をかけ　主「ヤヨ兼次、勝負は一度限りのもの、二の太刀下すは卑怯であらう」鶴の一聲兼「ハッ」と答へて後へ下りました、主膳近くに立寄つて、先づ虎次郎の鐙を改めて見ると、鵜の毛で突いた程の痕もない、兼次の刀を改めて見ると、二三箇所の齒こぼれがありました、此のことを殿の御前へ披露しました、下座に控ゑた若者は舌を卷いて手を叩いて歎賞に及ぶ、兼次赤面して差俯向いて居りました、殿は沖里を御前へ近く召し　殿「コリャ虎次郎今日の鐙と鋼の試合、天晴れである、其方が本生の誉譽左こそ思はる、實に當代の名人なる」と御賞美の上、れ盃を賜りました。

東京電報

▲議會と韓國問題　六日
日曜日なるに拘らず衆議院豫算分科會を開き司法官海外視察費及び韓國鐵道收益及び司法裁判官俸給に關する質問あり兒玉政府委員より答辯ありたり（六日夜）

▲豫算審査の進捗　衆議院に於ける豫算委員會は六日の會議に大署の質問を了せりと（同上）

▲首相の對韓演說　桂總理大臣は今七日衆議院豫算第一分科會へ出席し政府の對韓政策は一定不動の上に築かれつゝあり故に何等憂慮すべき事なく又此際過激の變革を要せずと叫び其他行政統一上の方針に就き演說し各議員交々質問を發したるが頗る不得要領を極め孰れも不滿足の觀ありたり（七日）

▲漢口總領事任命　總領事松村定雄氏は漢口在勤を命ぜらる（七日）

論說

北韓交通問題（上）（久水理事官の談）

目下上京中の元山理事官久水三郎氏は往訪の記者に語りて曰く余が今回上京したる目的は重に北韓に於ける交通問題に關するなりと前置きして、抑も北韓殊に元山が明治十三年に開港され茲に三十有餘年を經たるにも拘はらず現在の如く疲弊し居るは其の原因實に交通の不完備なるに基くものにして獨り元山のみならず之れが爲めに北韓一体が之れまで開發の後れたるは全く交通不備の結果と言はざるべからず、故に北韓を開發せんには其の急先鋒として交通機關の完備を計るを最も必要なりとす、近時海路は比較的發達し本邦との定期航路としても毎月十回以上あり唯だ西海岸に比すれば沿岸航路の振はざるは甚だ遺憾に堪ゑざる處にして之れが原因は種々ありと雖も就中陸上の交通機關の不完備なるに基くもの最も大なりと云ふべし、然れども沿岸航路のみならば相當の補助金を與へて奬勵をなさば今日の如き不振の狀態は打破く事は先づ以てあるまじきと思考す今之れを陸上交通の上より見る時は余程の發達を遂げたるものなり今少し陸上の交通機關を設逃せんに北韓に於ては昔より道路として見るべきものなく從つて馬車牛車等の通行を完全ならしむる道路は殆んどなく唯其の內に二三箇所は牛車により貨物運搬さるゝ處ありと雖も开は短距離にして該附近部落間の交通に過ぎずかくの如く陸上の交通機關の不備が荏苒今日に及び居るものが北韓をして發達なさしめざる一大原因たらずんばあらず、今や元山を巨る十六里にある永興に於ては昨春以來盛んに黑鉛採堀に從事しつゝありと雖も現下の有樣にては採堀のみに力を注ぐとも運搬方法の完備し居らざるためあたら寶源も年格僅かに一萬五六千圓位の輸出を見るに過ぎず永興に於ける黑鉛礦は韓國黑鉛礦中最も大なる鑛區なれば元山、永興間の道路改修を行ひて將來有望を以て迎へられつゝある際に輸出業を盛んならしむるは目下の急務なり云々。

安奉線の一問題

▲線道材料に課稅　安奉線問題の解決後建築材料に對し課稅す可きや否に付き日淸兩官憲の間に意見の相違ありたるも事實に於て淸國官憲は未だ一回も課稅を試みたることなかりしが如何なる故にや最近に於て淸國官憲は本谿湖方面より蒐集せる土石其他の材料に對して突然課稅を決行せる事實あり之に對し我政府よりは嚴重なる抗議を提出せる處淸國側に於ては直ちに曩きの課稅を取消すと同意し事件は一と先づ落着せりとのことにて差向き安奉線が滿鐵本線と同樣の取扱を受く可きものなりや否やの根本問題とは接觸し居らざる如くなるも今日に於て斯る行違の起るは淸國側が尙は前議を固執せるを證するものなりと

▲警察問題の發端　淸國が昨月末馬賊襲來の事ありたるを機とし安奉沿線三十三箇所に警察隊を配備したる事は當時報道せる所なるが其後彼等は鐵道敷地の尙は確定せざる箇所あるを奇貨として停車場若しくは線路に近接して事務を行ひ最近に於ては停車場內に入り込まんとして我官憲に峻拒せられたる事實もありと云ふ而して一面奉天に於ける交涉は今尙は開始の運びに至らずとのことなるが是等小事故の續發は自然奉天交涉再開の機を促進するならん

議會と韓國軍備

去る二日豫算分科會に於て寺內陸相各委員の質問に對し臺灣の軍備、軍用氣球研究費に對し答辯したる後臨時韓國派遣隊經費の問答ありたり柴四朗氏現在の韓國軍備は不十分なりと思ふ是は宜しく二個師團の派遣と爲し以て一方暴徒鎭壓及び豫防に供し一方移民保護を爲して韓國開發の爲に盡くされたく此事は當局に於て十分研究すべき必要ありとの希望を述べ寺內陸軍大臣之に答へて御希望の段は正に了承したり實は余も韓國の軍備に就ては大に考慮すべき事なりと思惟し居れる矢先只今柴君よりの希望もあれば是非一研究して見るべし云々尊で韓國の憲兵費にて質問起り經常費にも臨時費にも憲兵費あるは如何とは委員質問の要旨なりしに寺內陸軍大臣は左の如く答へたり曰く最初韓國の憲兵は千二百人にして此時は經常費より支出したるが其後增員して二千人と爲したり此增員後の經常費は臨時費より支出する事と爲したり事情斯かる次第にて其間に曖昧なる事あるに非ず云々

李完用氏の近狀

國分秘書官は一昨六日午後大韓醫院に李首相の病床を見舞ひたるが其談によれば首相は椅子に凭れつゝ快談し顏色頗る旺盛なるが如きも四肢に倦怠を覺え食慾は寧ろ進まざる方なり而して首相は一日も速かに退院せん事を希望し居るも主治醫は尙は暫らく靜養を勸め居れり尙ほ豫後日本溫泉行の說は無根なるのみならず首相は之を默し居れり然れども若し溫泉療養の必要あらば東萊又は溫陽溫泉に赴かん事を希望しつゝあるが如し且つ又遭難當時の模樣に就き變談したるに兇漢の振翳したる刀尖は先づ腹部に突入し嗚呼と叫ぶ間もあらず又返へす二の刀を肩部に加へられ早く醫員を呼と絕叫したる儘昏醉狀態に陷り其後の事は全く夢の如くなりし

順川亂民の檢擧

順川亂民の大檢擧は爾來各方面に人を派し夜を日に繼ぎて進行中なるが一昨六日迄に逮捕したる兇民は男二十五名女二名にして孰れも其巨魁と目す可きものゝみなり就中女二名の如きは不逞の奸婦にして男も尙は及ばざる程の兇猛獰惡を極め現に其一名は放火當時薪柴或は石油等を供給し兇民と共に騷擾場裡に馳驅したる有力なる放火幇助犯なり又他の一名は在留日本人等が難を脫がれて逸走せんとしたる行先を追ひ之を指示して兇害を逞ふせしめたる惡婦なり彼等は流石大膽不敵にして就縛の際從容自若何等臆する色なかりしと

楊市暴動の暗流

龍川郡楊市に於ける暴民は尙は騷亂を止めず何時爆發せんも計り難き危險の狀態に在り最も一時は其筋の說諭に服し退散せんとしたるも主謀者七名捕縛し更に又六名を引摿へあるより彼等は之が解放を求めんとて復又五百餘名の大集團押し寄せ來り其危險名狀すべからず依つて當局者は最後の威壓を加へんと欲し義州より一個小隊の兵員を特派して鎭撫を與へ若し飽くまで頑持せば討伐的快擧を試むべしと云へり

行政區域の刷新

韓國現行の行政區城は十三道に大別し其下に郡を置き更に小別して面洞里等の下級區劃を設けあるが其區劃たる甚だ不均一を極め現に一洞にして數万の住民を有する地方もあれば二三千に達せざる小邑もありて行政統一上頗る面白からざる現象を示めし居れり然れば地方行政の刷新を爲さんと欲せば先づ如上行政區域を直だすの必要ありと認め內部にては面、洞、里等の大廢合を決行すべく目下之が調査中なりと云ふ

●京城居留民會議案　既報の如く七日午後六時より民會を開きたる筈なるが其の議案は

一第一尋常高等小學校を櫻井町に新築せんとする件、數次記載したる如く四十三年度の入學期に於ては約五百名の就學兒童增加する見込なるを以て現今の校舍は狹隘なれば前記の所へ敎場を移轉し將來第三小學校に充てんとするものなり

一民團基金八千三十五圓を四十二年度歲入豫算に編入する件、小學校分敎場新築に關し財源なきを以て民團基金にて其の經費に充てんとするものなり

一民團債十一萬一千三百五十圓の償還期變更の件、既往民團債十五萬二千七百圓の內四萬一千三百五十圓は償還濟となりたるが殘額十一萬一千三百五十圓は四十六年度を以て完濟する現契約は二箇年繰延べ四十八年度を以て完濟することに韓國銀行との間に內約成立したるなり

一四十二年度歲入豫算更正の件及び四十二年度歲出入豫算追加の件、小學校校舍新築の爲め既定豫算を更正する必要を生じたるなり

●韓銀貨幣發行週報（自一月三十日至二月五日）

項目	金額
銀行券發行平均高	一三、二九四、九三一
內正貨準備發行高	四、八六〇、七八六
保證準備發行高	八、四三四、一四五
銀行券手許有高	五三六、四九二
銀行券市場平均流通高	一二、七五八、四三九

硬貨發行額　二月五日現在

種類	金額
內金貨二十圓	五、八五七、四〇〇
同拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九六二、六五〇
同貳十錢	一、四五三、五一〇
同十錢	九四四、八四〇
白銅貨五錢	七〇四、一〇〇
靑銅貨壹錢	二六一、七四〇
同五厘	八〇、五六〇

●司法權委任の良績　司法權委任當時に於ては一般韓人の誤解甚しく多少民心の動搖を來せしも昨冬十一月實施後に於ては日本法官の神聖にして法の前には如何なる權威も冒す能はず殊に三番制の如き權利のあらん限りの主張を容さるゝあり由來官憲の德を知らざる韓人には最初は寧ろ意外にまで感せし位にて同時に其德に服する事一方ならず各地到る處日本法官の神聖を唱せざるはなきに至れりと

●醫學校規則の發布　大韓醫院附屬醫學校規則は二月一日附內部令第五號を以て七日の官報に發布されたり其の內容は全文三十一ヶ條にて學科を醫學科、藥學科、產婆科及看護科に分ち修業年限は醫學科四ヶ年藥學科三ヶ年、產婆科二ヶ年、看護科二ヶ年學生定數は醫學科五十人、藥學科十八人、看護科二十人なり學生は官費にして食費被服及雜費を給與す

●各市場の米穀相場　最近度支部の調査に係る各市場の米相場は左の如し

市名	籾（圓）	玄米
仁川	三、五〇〇	六、七〇〇
群山	二、九〇〇	七、〇〇〇
木浦	三、〇〇〇	七、〇〇〇
馬山	四、一〇〇	七、四〇〇
密陽	三、四〇〇	六、一〇〇
海州	二、二〇〇	五、六〇〇
鎭南浦	二、二〇〇	七、〇〇〇
龍岩浦	四、一〇〇	八、二〇〇
平均	三、二二七	六、五五四

●各道部衙新築計畫　內部にては各道郡衙の何れも廢朽して執務上不便尠からざるのみならず其威嚴を保つ能はざるを認め全部之を新築せんとの計畫あり而して昨年度に於て三千圓を投じて四郡衙築成したるが本年度も豫算に計上しあるを以て目下人を派し調査中なり斯くて漸次全道の郡衙に及び其面目を一新すと

●仁川港海戰紀念日　仁川港海戰紀念日は愈々明九日なるが同日午後三時三十分より仁川倶樂部に於て官民聯合の大祝賀會には大久保軍司令官及木越中將其他將校を招待したるに木越中將の如きは急先鋒上陸司令官たりし緣故も深き事なれば萬障を排し出席すべき旨返答ありしと

●免稅運動員の上京　外米輸入免稅運動の爲め群山商業會議所役員金森玄三氏は此程來右打合せの爲め入京中なりしが運般運動に就ては在韓各商業會議所は全く同氏に委任する事となり同氏は在韓日人の總代表者として事に當る譯なるが七日朝南大門發列車にて東上の途に就きたり

●豫算分科會と韓國　六日午後四時石塚長官事務取扱宛兒玉書記官より左の通りの電報ありたり
本日は日曜なるに拘らず豫算分科會を開き司法官海外視察費及韓國鐵道收益及司法廳裁判官俸給に關する質問あり小官より答辯し置きたり本日を以て大体の質問を終りたり

●海州航路と天草丸　海州灣結氷せし爲め同航路杜絕したる由は既報の如くなるが時や舊節季の事とて同地及仁川間の往復頻繁を來し不便云ふばかりなきより一昨六日夜天草丸は仁川を出港し冒險的航海の途に上

●韓國鑛業の現在數　昨年十二月末現在鑛業權許可件數及其の面積は許可數に於て本邦人三百九十九件、韓國人百四十五件、外國人三十一件合計五百七十五件にして其總坪數一億九千三百三十二萬四千〇二十四坪延長千六百〇三丁なりと

●御用新聞の大發展　統監府御用紙京城日報は時勢の必要に應せんが爲近々輪轉機を据付け同時に記者の淘汰を行ふ由なり、因に現任主筆原田法學士は此際辭任して官途に就き〇〇氏後任者として入社すべく決定したりと云ふ

●騷擾と應援隊急行　順川及び龍岩浦附近に於ては騷擾以來未だ平日の靜穩に歸せず尙ほ萬一を警戒すべき必要あるに依り內部警務局に於ては昨七日更らに警察官練習生十五名を同地方へ向け急派したりと云ふ

●土地係爭事件無事　瓮津郡新興面住民七十三名の土地係爭の爲め去る三日瓮津財務署に押寄せたるも憲兵警察官等の說諭に服して解散し同地に滯留し居りしが之も夫々歸村し其の後は至つて平穩なりと云ふ

●京城と麻浦の架橋　昨今仁川龍山居留民間の問題となり居る麻浦架橋問題に關しては京城に於ても之を默視すべきに非ざれば七日の會議所役員會に於て研究を爲したる筈

●出品物の簡易通關　韓國政府より出品の福岡、名古屋兩共進會に對する送品は其筋と交涉を遂げし結果日韓兩稅關とも簡易通關を承認したれば何れも無稅なりと云ふ

●市原韓銀總裁出發　市原韓銀總裁は東京に開催の株主總會に出席の爲七日午前九時南大門發列車にて木村理事を隨へ東上の途に就けり

●共進會出品物荷造　名古屋、福岡の兩共進會出品物は愈々取揃ひたれば目下取急ぎ荷造り中にて兩三日中發送の運びに至るべしと

●土地證明調査進行　內部にては土地證明の所管引繼以來從來不確實と認むる分に對し目下調査中

●學部職員の打合會　學部は來る十九日所屬學校職員三十名を召集して事務打合會を開くべしと

●明石參謀長の歸任　山根侍從武官を釜山まで見送りたる明石駐劄軍參謀長は六日歸任したり

●榊原憲兵隊長出張　榊原憲兵隊長は平壤地方巡視の爲六日朝出發したるが往復は一週間の豫定

●神戶の韓米豆　韓米歐米輸出は輸出米界の問題と成り居り既に同米が昨年十二月に積出されたる高は六千八百八十九噸の多額に達し本年一月も額て六千噸に上り目下外商も買甚ふ風あるが今一とつ直段を追め來らざる爲め其後は不調の姿なれども昨今內地米稍々引締りに達し或ひは近々同米外約定再び締結せられんとする模樣あり兎に角韓國より直接海外輸出の途を講すれば在韓米業者大に努力する所あるべしと▲大豆　大豆は彼の滿洲地方にて歐州行積出旺盛の爲め非常の活溌を極め其結果滿洲大豆暴騰し延いて韓國大豆の得意時代より殊に昨今寒氣の嚴しきに連れ釜山大豆の特有たる凍豆腐用に需要喚起し兎角大豆も頗る好望となり

●野村鑑定官歸朝　關稅局鑑定官野村才二氏は今回母堂病氣の爲め現職を辭して歸朝するに付き六日關稅局並に度支部職員約六十名は花月樓に於て送別の宴を催し席上荒井度支部次官鈴木關稅局總長事務取扱交々起て野村氏の日韓關稅行政就中韓國關稅の整理に付き三十九年以來盡されたる功績の大なるを述べ新來の義太夫其の他の餘興あり頗る盛會なりしと因に野村氏は今八日朝南大門發歸國の途に就く筈なり

●韓國產業誌出版　京城文庫主任山口精氏の編纂に係る韓國產業誌は菊版二千三百頁に亘る尨然たる大冊にして全三冊を以て全く脫稿するに至りしが全校閱は各在韓の專門大家の手を經たる韓國產業界無比の大著にして在韓殖產商工業に從事せん者の絕好指針たり

●愛媛縣人會開催　五日午後六時より花月樓に於て愛媛縣人會を開きたるが來會者約五十名、先づ席定まるや發起人の挨拶あり次で滿場一致を以て岡正矣氏を座長に擧げ座長は京城に大久保、藤原、森、宇都宮、仁川に今井、岡田、龍山に長曾我部の當番幹事を指名し斯くて宴に移り歡を盡し散會せり

●今井忠雄氏東上　朝鮮日日新聞主幹今井忠雄氏は政況視察旁々昨七日午前仁川出發東上の途に就けり依て六日午後六時知友廿餘名は食道樂に氏を招待し送別會を開催し其行を壯にせり

●庵原課長の消息　釜山に於ける水產組合總會後各地を視察中の庵原漁政課長は目下木浦にあり同地方より群山を經て來る十日頃歸京の旨通知ありたり

●滿鐵課長の着仁　滿鐵工業課長朝倉仁次郎氏は五日安東丸にて仁川着

●熊谷直亮氏歸京　家兄の訃音に接し東上中の同氏は昨七日夜歸京したり

●敍任辭令　本月七日左記統監府官吏に對し敍任の辭令ありたり

統監府看守長從七位勳八等　鈴江震治郞
統監府看守長　井上信之助

任統監府典獄（敍高等官七等）
統監府典獄　鈴江震治郞
永登浦監獄在勤を命す
同　井上信之助
海州監獄在勤を命す
正七位勳六等　齋藤金話
任統監府警視敍高等官六等

官吏免稅反對決議

昨七日午前九時より京城日本人商業會議所にては臨時役員會を開き統監府官吏及通信管理局官吏等の通關免稅に關する件を協議したるが出席者は中村會頭以下殆んど全部にして孰れも其非理不法を痛論し飽迄之が撤廢を期せずんば已まざるの氣勢を示めしたり而して最後に反對の決議を爲し統監府に對し一篇の建白書を提出し其期成を約して散會したりと

公人私人

▲館野長五郎（大邱理事官）六日天眞樓へ投宿す
▲遠藤喜十郎（度支部建築所元山出張所長）六日入京山本旅館へ投宿
▲北村房次郎（同　元山出張所長）六日入京山本旅館へ投宿
▲村幸長（同　淸津出張所長）同上

▲治外法權▼

片瀨の別莊で最近曾禰統監に逢つて來た人の話によると同子爵は今以て顏色蒼白到底此世の人とは思はれぬホドだソーだ、コレデは根本的解決も統治權委任もあつたものにあらず、ヒヨツトすると地方行政組織の改善さいオヂヤンになるかも知れぬ▲總務長官が代はるとか次官が代はるとか大分噂があつたがソレも沙汰止になつたらしい、譯れを聞けば誰も曾禰さんの下へ來て働コーと云ふ者が無いからだソーだ▲大阪朝日主催の世界一週會申込は來る十日が締切りだツーな、當地から申込む御仁は可成練れぬ樣にし玉へ▲今度武田信玄が徵兵檢査に當つたソーだ、此信玄生れは本場の甲斐ではなく却つて越後境の柳原と云ふ所である▲江戶相撲も愈文明流になつて五月場所から行司以外年寄以外に數名の審判官を置くことになつたソーだ、之れで八百屋の長兵衞さんは絕對的に用事が無くなるであらう▲宇佐川東拓總裁今回東上の用向は內務省と交涉して內地各縣から代表的老農を半島に送らせ農事の視察調査を爲さしむるのだソーだ、コレデは宇佐川中將が本田博士の株を奪いソーだ▲頃日韓友記者の許に來り尋ねて曰く日韓合併が出來れば韓人は日本國民となり一等國民となりますかと、記者答て曰く日韓合併後の卿等はイムペリヤル、サビヂクト（帝國臣民）となるにはあらずしてコロニヤル（殖民臣民）サビヂクトとなるなりと▲滿韓之實業とやら云ふ雜誌に開祖ワシントン、モンロー主義を宣示すと書いて居る、無識も此位になれば悲慘だ。

趣味の京城（六）

宴會と藝曲——淨瑠璃——綠史——大弓——琵琶——俳句會

日本に於ける音樂中淨瑠璃と云へば、淨瑠璃の流行は[illegible]に至るまで其のテツりの一節を知らぬものはあるまい、此の京城に於ては[illegible]と云つて、立花太夫を名乘り[illegible]大阪の元老株豐竹八重太夫[illegible]に學んだ[illegible]伏見稲荷[illegible]世人を驚倒せしめた事もある人と、[illegible]味を吹いた、然し當時未だ居留民の數も少なく勢力も思ふ樣に伸張することが出來なかつたので、[illegible]

[illegible]に老錬といふのみの若手許りで是れだ喉客分たる新駒られる位、最後にいへば、米昇は流が以前大阪の文樂は退歩といふより第一とはいふことは大張り大坂で女義仲加ある丈け何とも云六花は何處に出してでも嶄然頭格を顯はして居る。

八達山中の殺人

▲犯罪の原因は暴徒の妻
▲殺人教唆者は韓人警部

客年十二月九日水原八達山の森林中に於て水原郡南面山樓洞の洪翼鎭といふ者殺害せられ爾來水原警察署に於て嚴重に犯人を探索中なりしが此頃に至り意外にも加害犯人は同人の妻弟親戚三名にして[illegible]

人妻の實弟　韓人警部

[illegible]其の詳細の事實[illegible]は數年前より暴徒の群に投じ諸方を徘徊し居り妻金[illegible]守る中聚警部は金の[illegible]込み或る人の周旋に[illegible]を妾となし不義[illegible]

殺害して

[illegible]後日の煩を[illegible]なくも金の不貞を[illegible]金は聚警部と相談の上[illegible]の餘りその實弟金奏業[illegible]果敢にも思慮を極め金[illegible]に客臘三日洪は突

下手人

となり親戚なる[illegible]奏業（三四）の助力を求め甘[illegible]八達山中に誘ひ出し暴徒[illegible]都合を責むる態にて絞[illegible]に致せり以上の罪實を

殺人教唆

金奏業

殺人罪

にて檢擧せら[illegible]地方裁判所檢事局に廻[illegible]警察署監督巡査中向春[illegible]國鎭、崔昌植の四名は[illegible]せる廉により

懲戒　免職

となり

浪人懇親會

▲意氣衝天の概ありき

古今東西の類例なき殆んど破天荒とも云ふべき大韓日報主催の浪人懇親會は一昨六日壽座に開催されぬ斯かる突飛の會合なれば二三十人集まれば最上と思ひしに意外にも二百餘名の多きに達し頗る盛會を極めたり午後一時爆竹の勇しき響きを合圖に開會し主催者戸叶薫雄氏開會の挨拶を爲し退會合に就ては官憲に於て非常に神經を惱ましたる如くなるも何等政治的意味なく又社會的會合に非ず何ぞ官憲の勞を煩はさんや官憲の干渉すべき徒は浮浪無頼の輩にして吾徒は國士のみなりと喝破し斯場に入るものは切符を有せざれば官憲と雖も之を拒絕せりと叫び意氣衝天の概ある演說に活氣を添へ次いで電通の牧山耕藏氏演壇に現はれ奇警なる次の決議文を提出し滿堂の浪人に諮り之を決す

橫運未だ到らず空しく滿腔の經綸を蘊し髀肉の嘆に堪へざる吾徒浪人も亦是れ社會的一勢力なり由來天下の事多く浪人に依りて定まる豈に自ら輕んず可けんや倍々不撓不屈の大精神を鼓舞して吾が大和民族の精華を發揮せん事を庶幾す

大韓日報主催
在韓日本人浪人懇親會

拍手喝采湧くが如く之を迎へ次ぎに宇都宮京城通信社長起ちて吾が敬愛する大隈伯爵は浪人中の巨魁なり此偉傑に對し左の電報を發せんと提議したり

在韓日本人浪人は本日一大懇親會を開き此機に於て伯爵閣下の健康を祝するの光榮を有す

大韓日報主催
在韓日本人浪人懇親會

後五分乃至二十分位宛交る〲氣焰を吐き義士勢揃の講談あり勇壯悲痛なる琵琶の彈奏あり風蕭々として易水寒しの感ありしも無事散會せり。

黃海道の不穩

▲賊團の出沒頻々

黃海道にては昨今知名の首魁が率ゆる十五名乃至三十餘名の賊團の出沒すること頗る頻繁にして頗る警戒を要する由なるが黃海道各地より達したる公報に依れば一月二十八日夜約三十名の賊團は孰れも銃又は刀を携へて海州郡三谷面三里の里長金洛天の家を襲ひ村民より集めたる稅金を軍用金に供せよと迫りたるを以て里長は既に財務署へ納めて手元にあらずと答へたれば直ちに里長を殺し趙樂なる者に出金を迫りて之又聽せざりければ趙家に放火して東方に向ひたり其人數及び銃器に依りて察す[illegible]

[illegible]賊團は平山郡龍山面指洞方面より海州郡雲谷面を經て載寧郡栗木洞方面へ向ひたる由なるが賊は皆茶褐色服に茶褐色の帽子を着し各自單發銃に彈藥五六十發を所持し居たりと云ふ一月三十一日午後三時頃載寧郡上柳面に賊魁李鎭龍の率ひる四十二名の賊團現はれ屏巖山を越へて海州郡錦山方面へ向ひたる由なるが賊は皆茶褐色服を着て各自洋銃を携へ一名は軍刀を所持したりと云ふ一月三十一日巨賊延基羽は三十餘名を率ひて麻田郡高枝里より臨津江を渡りて漣川郡北面に入りたる由なるが此一團は銃三十挺を所持し茶褐色服に學生帽を着し居ると云ふ

氷上大運動會

▲來觀者無慮數萬人

朝鮮日日新聞主催に成れる漢江氷上大運動會は一昨六日豫定の如く擧行されたり木越中將石塚長官以下文武高等官等數百名出場し勇壯なる大運動行はれ殊に當日は日曜に搗て加へて餘寒漸かに薄らぎたれば京城より來觀者數万人を算せられ電車は二三臺宛續行して尙ほ滿員の盛況を極めたり

●小膽者の毒藥自殺

▲原因は貧窮の結果

仁川宮町三丁目六番地の九古物商森藤次郎（三五）と云ふは去る五日午後三時過ぎ重格魯見酸加利儒を多量に服用して見事自殺を遂げたるが其源因を聞くに同人は日頃極めて小膽者にて僅かな事を氣にする神經質なりしかば家賃の滯潛三十圓及び二七銀貨所等より賣掛代金を嚴しく請求せられ貧窮の結果世を果敢なみ實母及妻のアキ娘のツルを後に殘して無分別なる死を遂げたるものなりと右の報に接するや仁川署より篠村部長及佐藤病院々長出張檢視の上死體は古物商組合にて醵金し埋葬せし由

●文無し男の失策

▲二階から逃亡を謀る

壽町一丁目三十七番戸森藤次郎方裁縫業島丸榮吉（二四）と云ふは五日午後十時頃大和町一丁目料理店田村作郎方へ登樓し酒食代三圓五十錢の處へ一文の金もなきより翌一時頃隙を覗つて二階より飛び出して逃亡せんとする處を亭主に發見せられて追跡本町六丁目郵便局前にて取押へられ同道主家に立歸りしが自分のみ宅に這入りて鍵を下し呼べど叩けど再び出で來らぬにぞ亭主も閉口して交番に訴へ出で警官の出張を願ひ漸く島丸を呼び出したるも埒あらず遂に警官同行にて本署へ引致他に犯罪ある見込にて取調中とは厄介な奴

●不拂から說諭

[illegible]は去る四日午後一時頃二名の友達と打連れて本町一丁目裏の君の江と云ふ料亭へ登樓し八圓許りの散財をなし今は持合せがなければとの事に多少は顔も分り居る男の事とて同亭にても其儘に立歸らせしに翌日午前十一時頃又々同亭に登樓なし六圓許りの酒食をなしたれど今度も持合せなしと云ふに然う〱は同亭にても承知せず遂に車夫を附馬として出したるに前田は既に酩酊し居る事とて我家に立歸りしも些しの要領も得ず依て其旨說諭を南部署に願ひ出しかば直に本人召喚の上酒食代全部支拂ひの上事濟み

●仁川小事故

▲仁川花町上田佐太郎と云ふは一昨日同町トロック踏切に於て韓人李橋化と云ふが通り過ぎんとするものから之を制止したるにも拘はらず聽せざりしにぞ横面を强か毆打して警官の說諭を受く▲仁川朱安面居住の崔相順と云ふは一昨日仁川支那町德興號方にて大連彩票を購求せんとする處を警官に見咎められ大目玉を頂戴す▲仁川本町榮組船夫川島増太郎（十九）外二名は一昨日木村組合宿所小宮虎造方にて金錢上の事より中谷梅太郎を毆打して逃亡せしかば目下其筋の手にて加害者を搜査中なりと

●猩紅熱流行

目下京城には猩紅熱患者七名ありて益々流行する恐れあり聞く處に依れば最初は普通の感冒と信じて輕視し又は隱蔽するを以て益々蔓延する譯なれば各自充分注意すべしとなり

●婦人會例會

京城基督教會婦人會にては本日午後一時より同教會に於て例會を開き石原牧師の『慕はれし老夫婦』と題する講演ある由

●海戰紀念繪端書

仁川澁川繪端書店にては明九日の仁川海戰紀念日に當り紀念繪端書を賣出したるが二枚一組にして一はワリヤーク引揚當時の光景と同艦修理後の寫眞とを對照したるものにして一はワリヤークと負傷兵を當時彼等を看護したる篤志婦人會關係者と一堂に會したる光景を撮したるものにして絕好の紀念物たり定價一組拾錢

●珍花朝顔の配種

長野縣下高井郡延德村の大隈朝顔園に於ては愛好家の最も珍賞する縮葉、卷葉、風鈴咲、五枚切れ咲、桐性唐花牡丹咲、桔梗咲、亂菊牡丹咲、獅子狂咲、捻梅咲、手長牡丹性直徑六寸餘の丸咲等最も優等種類百二十種混合入袋に朝顔培養秘法を添へ希望者には三千名を限り一名一袋宛を送料共實費廿五錢を送る人には直ちに（十二種類）宛を一組とし一組毎に同廿五錢を送れば何處迄も送り屆ける由を同園より申來れり

藝界

▲編輯日誌▼　むら君のふるまいで手製れ壽もじの饗應があつた、柳江通信が不足だと云つて血眼、桃睡君が選入り切れぬと云つて當惑

▲歌舞伎座　過般京城座にて興業なしゐたりし田宮一座の新劇は今度旭町歌舞伎座へ乘込みて本日が初日藝題は『壯夫の犯罪』全十場にて其の役割は

步兵軍曹中山進（泉）藝妓染葉（堀江）仲居れしづ、車夫の金太（桂木）法學士清水清（角村）步兵曹長繁木豊之助（吉井）馬丁金太（高島）憲兵屯所長渡邊晋一（松村）野々村源八（美崎）憲兵伍長江口新（田宮）

▲浪花館　同館本晩の出し物は次の如くにして大切總掛合は『忠臣藏七ツ目』との由

御祝儀實の入船（越吉）柳（今子）忠臣藏五（此菊）日吉丸三（此濱）れてん買（油屋（春吉）朝顔宿や（小妻）御所三（團菊）寺子屋（越之助）三味線（今吉）大切忠臣藏七ツ目總掛合

義太夫評

六日の晩に浪花館の娘義太夫を些度覗いて見た、新建の家丈けに座り心持も惡くない、舞臺構ねは大坂の寄席風に小じんまりと出來て居る、土間も二階も溜員と云ふ景氣十時頃には大入のビラ迄下つた、自分が這入つた頃は丁度團菊の柳一に權現と云ふ木遣音頭の最中であつたから先づこゝから初めて見樣▲團菊、兎に角一座の花形顔も惡くなし押し出も可し聲も喉も確かな者で申分はなかつた、只惜い事には聲が有餘つて居る丈けに兎角其の聲が先走りをして折角の本人を潰す樣な場合が時々あつた併し今が修業中なれば今後自分の聲を自分で支配する樣になれば眞打に手の達くにも間はあるまい▲越之助　何と云つても同一座の眞丈けに可く語る此の晩の語り物は紙治であつたが小春も治平も共に可く活きて聞かれた喉も充分貫つて云ひ分なし、搗て〻三味の手が冴ねて居るから一段と語り口に引立が見ねた耳障りになるのは處々に新内の口調が現はれる事だ此の女の地は新内で仕上げて中途義太に轉じた者らしく思はれる、常盤津芘は混同も餘り耳に立ぬが新内と來ると大分義太とは懸隔がある此奴ア大夫さん嬉さにや可けますめね▲小妻　此の女を助け場に出すのは少々無理だ、團菊のいいもたれと取り替ゆれば可かつたらう、まだ喉も節も圓熟してない大体の筒が細いのだらうだから大切總掛合豬名川[illegible]女房では成功したが語り物の三勝半七では[illegible]二人の語り口が失敗でもあつた▲總掛合　大切[illegible]取千兩幟先づ御愛嬌の景物であつたが體の景物でなく眞面目であるべき[illegible]つたのだが鰻ケ嶽の若い衆が見居睡りを餘り極端に見せたから物が笑つて了つた、捩れ込の若い[illegible]上出來、豬名川の附け眉毛が時々[illegible]る杯は御本人さぞ氣がかしかつた曲彈た添物として越之助の三[illegible]彈き別に取立てる處もなかつた者だ（かの字）